

令和4年度全国博物館長会議（第29回）開催要項

1. 趣旨 全国の国公私立の博物館長に参加を求め、新たな博物館法に基づき、今後地域に開かれた博物館、社会教育文化施設としての博物館が一層発展するため、博物館をめぐる諸課題の把握及び対策を検討する。
2. 主催 文化庁、公益財団法人日本博物館協会
3. 対象 全国の国公私立博物館長
4. 期日 令和4年7月6日（水）
5. 開催方法 オンライン（事前申込み制）
6. 日程
 - 10：30～10：45 開会
挨拶 文化庁次長
公益財団法人日本博物館協会会長
 - 10：45～11：05 行政説明 文化庁
 - 11：05～11：45 事業説明 公益財団法人日本博物館協会専務理事
 - 11：45～12：00 日本博物館協会賞受賞館「福井県年縞博物館」からの報告
 - 12：00～13：00 昼食休憩
 - 13：00～14：00 博物館法改正の経緯・趣旨・概要及び施行に向けた日程説明
講師 ・文化庁博物館振興室長（文化戦略官） 井上 卓己
・文化庁博物館振興室長補佐 三木 直樹
 - 14：00～16：20 個別講演（各30分+質問時間5分を想定）
講師 ・日本ファンドレイジング協会 代表理事 鵜尾 雅隆
「博物館のファンドレイジングと長く応援してもらえる博物館になるには(仮題)」
・日本総合研究所 シニアマネージャー 山崎 新太
「博物館における官民連携手法の効果的な導入」
・乃村工藝社 公民連携プロジェクト開発2部 藤江 亮介
「連携？協働？共創？地域固有の価値をつくるミュージアムの取り組み」
・国立情報学研究所 名誉教授 高野 明彦
「デジタルアーカイブの重要性と取組（仮題）」
 - 16：30 閉会